

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 23 年 8 月 25 日 (2011.8.25)

【公表番号】特表 2010-533248 (P2010-533248A)
 【公表日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-042
 【出願番号】特願 2010-516256 (P2010-516256)
 【国際特許分類】

D 0 1 D 10/00 (2006.01)

D 0 1 D 5/04 (2006.01)

D 0 4 H 1/72 (2006.01)

【F I】

D 0 1 D 10/00 A

D 0 1 D 5/04

D 0 4 H 1/72 C

D 0 4 H 1/72 D

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 6 日 (2011.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 1 マイクロメートル未満の平均繊維径を有する溶剤含有ポリマー繊維を含む不織ウェブを提供する工程と、

少なくとも 1 つの赤外溶剤ストリッピングステーションを通して不織ウェブを運ぶ工程であって、繊維の溶剤濃度を約 10,000 ppmw 未満に低減するために不織ウェブに衝突する溶剤ストリッピング流体の不存在下に赤外放射線が不織ウェブを照射する工程とを含む溶液紡糸不織ウェブからの化学的に結合した紡糸溶剤のストリッピング法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

これらの実施例は、本発明の赤外ベースの溶剤ストリッピングステーションが紡糸溶剤を実質的に含まない溶液紡糸不織ウェブを製造できることを実証する。

次に、本発明の態様を示す。

1. 約 1 マイクロメートル未満の平均繊維径を有する溶剤含有ポリマー繊維を含む不織ウェブを提供する工程と、

少なくとも 1 つの赤外溶剤ストリッピングステーションを通して不織ウェブを運ぶ工程であって、繊維の溶剤濃度を約 10,000 ppmw 未満に低減するために不織ウェブに衝突する溶剤ストリッピング流体の不存在下に赤外放射線が不織ウェブを照射する工程とを含む溶液紡糸不織ウェブからの化学的に結合した紡糸溶剤のストリッピング法。

2. 前記平均繊維径が 0.8 マイクロメートル未満である、上記 1 に記載の方法。

3. 前記平均繊維径が 0.5 マイクロメートル未満である、上記 2 に記載の方法。

4. 前記溶剤濃度が 1 , 0 0 0 p p m w 未満に低減される、上記 1 に記載の方法。
5. 前記溶剤濃度が 3 0 0 p p m w 未満に低減される、上記 4 に記載の方法。
6. 前記不織ウェブがスクリム上で前記溶剤ストリッピングステーションを通して運ばれる、上記 1 に記載の方法。
7. 前記少なくとも 1 つの赤外溶剤ストリッピングステーションの前または後に少なくとも 1 つの流体 / 減圧溶剤ストリッピングステーションを通して不織ウェブを運ぶ工程をさらに含む、上記 1 に記載の方法。